

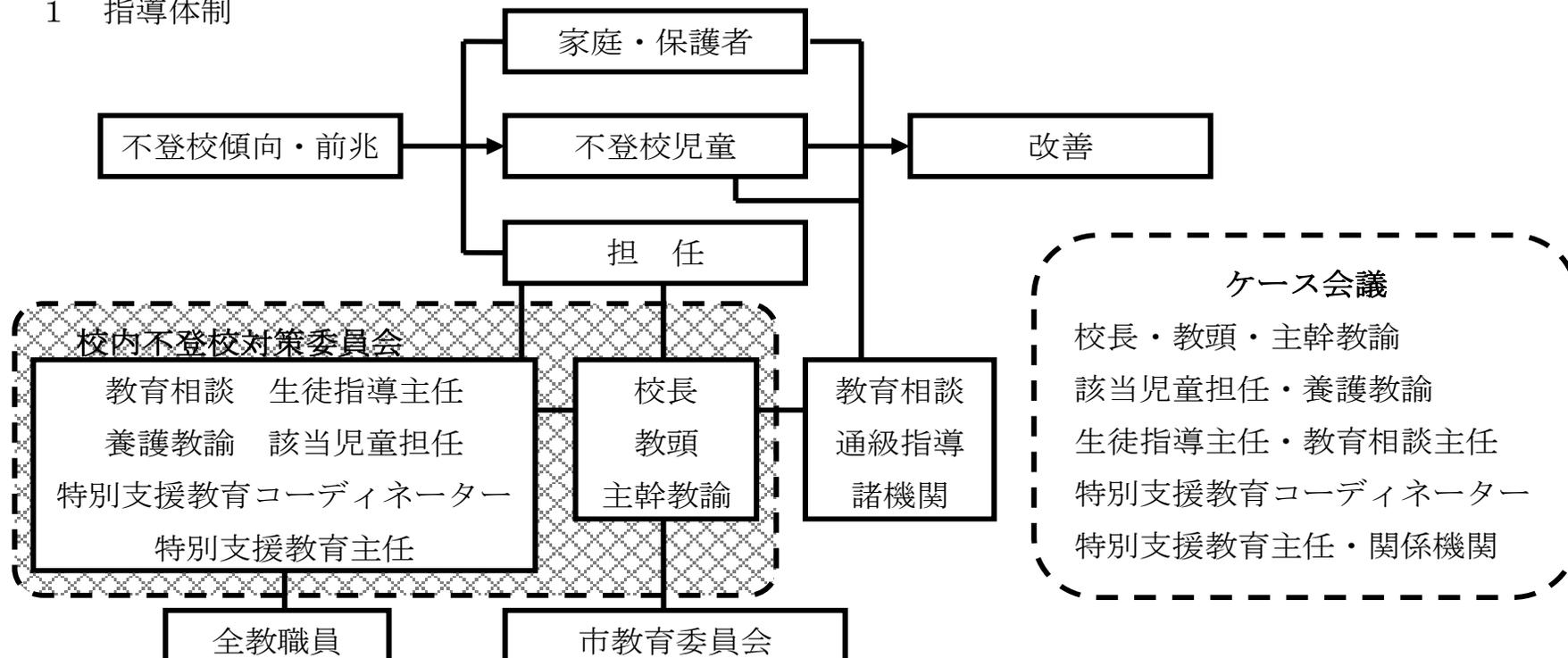
朝霞第五小学校の 生徒指導について

～不登校児童の現状について～

令和7年度 不登校対策に関する全体計画

朝霞市立朝霞第五小学校

1 指導体制

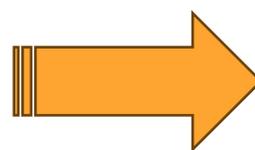


- 担任は、該当児童の状況及び指導内容について記録を取り、全教職員に報告する。
- 生徒指導・教育相談を窓口にして対策協議し、全教職員の情報連携、行動連携を図る。
- 外部機関との連携し、具体的な指導内容について専門家の意見を求める。また指導方法等について相談する。

昨年度の不登校児童生徒の状況について

令和6年度（令和6年4月8日～令和7年2月28日まで）

・長期欠席者（欠席30日以上）



31人

・欠席の主な理由

■ 登校不安

■ 体調不良

■ 不明

■ 起立性調節障害

■ 家庭環境の変化

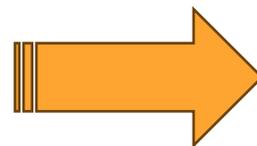
担任からのアプローチ事例

- ・必要に応じて、保護者と担任と養護教諭で面談をした。
- ・SCと情報交換をしている。
- ・こまめに保護者と連絡を取るようになっている。
- ・本人と相談しながら課題を決めて取り組んでいる。
- ・必要に応じて、家庭訪問をしている。
- ・事前にその日の予定をチームスに載せて、本人が判断しやすいように整えている。
- ・オンライン学習で対応をしている。
- ・放課後に登校して、学習支援をしている。

今年度の不登校児童生徒の状況について

令和7年度（令和7年4月8日～6月17日）

・長期欠席者（欠席10日以上）



19人

・欠席の主な理由

■ 登校不安

■ 体調不良

■ 不明

■ 起立性調節障害

■ 家庭環境の変化

保健室登校の現状

- ・今年度、保健室登校をしている児童… **3人**
 - 1、2時間程度学習をしている。
 - 給食を食べて帰る。
 - 朝、登校してすぐに帰る。

※自分で無理なくできるスタイルを決めて、担任と相談しながら課題に取り組んでいる。

不登校対応 段階別アプローチプラン 朝霞市教育委員会

	本人に対して	保護者に対して	関係機関との連携
1日欠席	<ul style="list-style-type: none">・電話連絡し、休んだ理由と体調の確認、家でどのように過ごしたか、本日の学校・学級の様子を話す。明日の登校を促す。・「先生は心配しているよ」、「学校に来てほしい」という思いを込めて声をかける。	<ul style="list-style-type: none">・欠席連絡がない場合、朝のうちに必ず確認の連絡をする。・電話では、欠席理由と本人の様子、明日はどうなりそうか聞く。	<ul style="list-style-type: none">・学年教員と情報を共有する。・養護教諭に欠席理由を伝え、情報を共有する。
3日欠席 (連続)	<ul style="list-style-type: none">・家庭訪問をし、本人の様子を確認する。本人の気持ちや心配なことを丁寧に聞く。・仲の良い子から話を聞く。	<ul style="list-style-type: none">・家庭訪問をし、家での様子を聞く。保護者の気がかりなことなど、情報を得る。・学校生活への要望を聞く。	<ul style="list-style-type: none">・学年内教員、学年主任、教育相談部、管理職などに報告し、情報を共有する。・さわやか相談室と連携する。

	本人に対して	保護者に対して	関係機関との連携
ポツポツ欠席 (連続でない)	<ul style="list-style-type: none"> ・登校した日に休む理由、交友関係、悩みなどを聞く。 ・仲の良い友達に、声をかけてもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電話連絡で、欠席の前日や登校した日の朝の本人の様子、いつもと違うところがないか、気がかりなことを聞く。 ・登校できた日は、送り出しに感謝を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて教育相談部にも面談に入ってもらう。 ・複数の教員から、登校時に声かけをしてもらう。
1週間欠席 (連続)	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず家庭訪問をし、本人の様子を確認し、本人の気持ちや心配なことを聞く。「顔が見られてうれしい」など、本人を気にかけて声かけをする。 ・学習面の悩みにも配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭訪問をし、家での様子を聞く。保護者の気がかりなことなど、情報を得る。 ・参加できる教科のみに参加、放課後登校など本人のペースにあった登校方法を提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さわやか相談室、スクールカウンセラー、養護教諭と連携する。 ・こども未来課に情報提供をする。

	本人に対して	保護者に対して	関係機関との連携
長期欠席 (連続)	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回家庭訪問をし、関係を切らさない。 ・放課後登校、保健室・相談室登校など、可能な方法で登校を促す。 ・生活リズムの乱れに注意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回家庭訪問をする。1か月以上の長期欠の場合、週1、2回電話をする。家での様子を聞くなど、関係を切らさない。 ・子ども相談室などを紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さわやか相談室、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、子ども相談室と連携する。 ・医療機関、フリースクール等の外部機関とも連携する。
回復期	<ul style="list-style-type: none"> ・励ましの言葉や登校できたことをほめる声かけをする。 ・無理のない登校リズムを相談しながら決める。短期目標と長期目標を本人に決めさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電話連絡などを継続する。 ・家庭での様子の変化など、心配なことがないか、定期的に話を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携を継続し、情報交換を行う。

生徒指導部として

毎月の生徒指導部会で児童の様子を共有している

保健室からの欠席日数の報告

+ 遅刻気味の児童

不登校になってしまいそうな児童

不登校の要因

- ・勉強についていけない
- ・友達との関係がうまくいかない
- ・先生との関係がうまくいかない
- ・家庭環境の影響
- ・起立性調節障害 など

→それぞれの児童に必要なことを見極めて関わっていく必要がある。

人間関係づくり

学校（担任）と児童本人との関わり

学校（担任）と保護者との関わり

- ◆若い先生が多いからこそ、学年で情報を共有してさまざまな方法を考えることが大切
- ◆相談しやすい環境をつくることが大切

人間関係づくり

コミュニケーション力を高めるために

令和6年度 アサーショントレーニングについての職員研修

アサーショントレーニングを活用した授業

令和7年度も夏季職員研修を実施予定

終わりに

- ◆登校している児童もしていない児童も、一人一人が安心して生活していけるように
- ◆学校も安心して過ごせる場所になるように